

わがふるはあ〜ん

美のカリスマ 福智町
IKKO トークショー



観光大使 IKKOさん

ステージで故郷に愛とエール贈る

11月3日に福智町観光大使に就任したIKKOさんが同対策研修センターでトークショーを開催。方城和太鼓クラブと共演し、7曲を披露しました。「三つの町が一つになって、いま福智町に一番大切なことは絆で結ばれること」「ヤマの時代の人達のように一所懸命の気持ちで前に進んで」と、愛を込めたエールを会場に贈りました。



和装・洋装と華やかな衣装で登場したIKKOさん。歌とトーク、Q&Aや握手で客席との距離がさらに近づき、会場総立ちで心をつなぐ声に合わせました。なお、今回の収益金は、町のために役立てられます。



町長日誌

▼先月3日に「福智町合併5周年記念式典」を開催したのは、まだ記憶に新しいことと思う。

それは、5年余の歩みを確認すると同時に、ふるさと福智町の明るい明日に向け、気持ちを重ね合わせるきっかけになればとの願いを込めた取り組みでもあった▼式典の中で、合併以降懸案となっていた「福智町民のこぼ」を制定したことの報告と、IKKOさんに観光大使就任のお願いをするセレモニーを行った。前文と5つの項目からなる「福智町民のこぼ」は、今後のまちづくりの指標として、その実現を目指すすいわば町是となるものだ。本町の輝かしい未来を創造するために、町民のみなさんお一人おひとりの日常生活における指針にしていきたいと思っている▼また、福智町発展のカギを握る施策である「観光のまちづくり」を、円滑にそして早期に達成できるように、IKKOさんには是非力を貸していただきたい——そんな祈りにも似た切実な思いから、今回の観光大使任命の運びとなった。これまで、東京で町特産品の販売会を実施したり、福岡市・北九州市を対象にバスツアーの誘致を行うなど、町のPRに努めてきたが、波及効果と言える程の成果をあげるには至っていない。こうした現状を好転させるためにも、抜群の知名度を持つIKKOさんの力をお借りしたいと思う▼望郷の念にかけられることが多くなったと述懐された大使就任のあいさつが、今でも忘れられない。

浦田 弘二